

# 観光、教育、茶業で 中国との交流を促進

## 江蘇省宜興市と友好交流に関する覚書を締結



- 宜興市
  - 1\_まるでホテルのような小学校の校舎
  - 2\_小学校の音楽の授業
  - 3\_商談会で本市の魅力でPR
- 閘北区
  - 4\_お茶の販売に向けた「提携協定」を締結して握手を交わす西原会長(左)
  - 5\_「上海国際茶文化旅游節」の会場
  - 6\_ブースを出展して静岡牧之原茶をPRする茶業関係者ら



市は、昨年から交流を進めている中国江蘇省無錫市宜興市と5月8日、「観光及び教育等における友好交流に関する覚書」を締結しました。また、11日には上海市閘北区で国際茶市場を経営する有限公司(=会社)とも、茶業関係者の発展と連携を図る提携協定を結びました。今後は、これら両市区との官民一体となった交流の促進が期待されます。



宜興市での「観光及び教育等における友好交流に関する覚書」調印式

市では、5月7日から14日まで、西原市長を団長とする「牧之原市友好訪中団」を派遣しました。参加者は、市長や教育長、市議会議長・副議長、小学校長、商工・観光・茶業関係者など29人。訪中団は二班に分かれ、江蘇省宜興市や上海市閘北区などを訪問しました。

### 宜興市との交流

宜興市は江蘇省の南部(太湖の西岸)に位置する県級レベルの行政区の一つで、面積2177・43平方キロメートル、人口は約105万人の都市です。古くから「中国陶器の都」として有名で、四千年の古都と近代産業が融合して発展してきました。

宜興市には、昨年11月に教育長らが訪問。翌月、宜興市から夏曙希旅遊局長ら訪日団が本市を訪れ、相良小学校の授業風景やさがらサンピーチ、牧之原大茶園を視察するなど、相互に交流を深めてきました。

### 覚書の締結

宜興市への訪問では、「観光及び教育等における友好交流に関する覚書」を締結しました。

覚書の締結式は、5月8日に同市内のホテルで行われ、西原市長と宜興市の梅中華副市長、静岡県上海事務所長らが出席して行われました。締結にあたり、梅副市長が「観光や教育などの分野で交流を深めま

よう」とあいさつ。西原市長は「相互理解と友好関係の強化、将来の両国を支える人材の育成を目指したい」と答えました。

覚書には、幅広い相互交流の実施について互いに努力すること、特に観光、教育、環境経済等の分野における交流の促進について協議することなどが盛り込まれています。

また、締結式に合わせて行われた商談会では、先方の教育・観光・旅行関係者らに本市を広く紹介し、今後の観光客誘致や修学旅行生の派遣について要請しました。

### 閘北区訪問と静岡牧之原茶のPR

昨年11月に、「お茶文化」をテーマにした友好交流に関する覚書を締結した上海市閘北区では、西原市長らが劉祖亮区長と会談し、今後の交流について、お互いの積極的な意思を確認しました。

また、5月11日から13日までの3日間は、「上海国際茶文化旅游節」に参加し、その開幕式で上海帝美特国際茶業市場経営管理有限公司と本市の茶業振興協議会(西原茂樹会長)が、茶業関係者の相互発展と市場拡大、販売促進を目的とした提携協定を結びました。

期間中は、旅游節の会場に静岡牧之原茶のPRブースを開設し、西原市長らが大勢の来場者に「深蒸し茶」を振る舞いました。